

基盤となるCSR活動

CSR経営の考え方

日本化薬グループは、KAYAKU spirit
「最良の製品を不断の進歩と良心の結合により
社会に提供し続けること」を実現することにより
すべてのステークホルダーの信頼に応える
CSR経営を行ってまいります。

アクションプラン

- ・企業ビジョン、CSRを啓発する
- 2012年度の目標
- ・教育研修の継続実施
- ・CSR関連プロジェクトの組織横断的運営
- ・会議・社内誌などによる啓発活動の継続

評価



コーポレート・ガバナンス

日本化薬グループは、経営の透明性の確保が
重要な課題であると認識し
自律的なガバナンス体制を整備し、
コンプライアンスを企業活動における
最優先事項と位置付けています。

アクションプラン

- ・コンプライアンスを啓発する
- 2012年度の目標
- ・全従業員を対象にした
コンプライアンス研修の実施
- ・コンプライアンス・アンケートの実施

評価



KAYAKU spirit とCSR経営

KAYAKU spirit 「最良の製品を不断の進歩と良心の
結合により社会に提供し続けること」は、日本化薬グルー
プの企業ビジョンです。KAYAKU spirit は、50年以上前
に制定された社是をもとにしており、私たちがずっと持ち
続けているCSR経営の基盤となる考え方です。当社グルー
プは現在9ヵ国で事業を営んでおり、各人の仕事の内容・
働く国や文化なども異なります。このような中、全従業員の
共通の考え方として KAYAKU spirit を位置付け、一致団
結して目標に向かうよう努めています。

あるべき姿
||
企業ビジョン

企業活動
事業計画・事業活動
アクションプラン
社会・地域貢献活動
環境負荷軽減活動

行動規範
心がけ、行動方針



■ KAYAKU spirit と CSR 経営

企業ビジョンである KAYAKU spirit を実現させるための企業活動としてCSR経営を位置付けています。

CSR経営実現のための取り組み

2010年6月、すべての事業活動をCSRの観点から判断
する目的で、CSR経営委員会を設置しました。本委員会は
社長を委員長とし、各事業を統括するすべての役付執行
役員をメンバーとしています。



INDET SAFETY SYSTEMS社(チェコ)における企業ビジョンボード

また、CSR経営
を日本化薬グル
ープの経営
方針と位置付
け、経営トップ

から継続的な浸透を行っています。

さらに、CSR推進体制を強化するために、2009年より組織
横断的な社内プロジェクトを結成し、全社での取り組みを進め
ています。企業ビジョンを浸透し、CSRの意識を全社員に定着
させるために、年間数十回のCSR研修・コンプライアンス研修
を実施しています。また、KAYAKU spirit やCSR経営を解
説した冊子や携帯用のカードは、6ヵ国語に翻訳し、日本化薬
グループ全体で共有しています。2012年度には、KAYAKU
spirit グループ行動指針を示した掲示ボードに
ついても各国語版を作成し、全事業場に
掲示する取り組みも行いました。

CSR研修回数

14回

中期CSRアクションプランとコーポレートイメージの制定

中期事業計画 **Challenge 100A!** 期間中に取り組む中期
CSRアクションプラン(P6, P7に掲載)を策定し、CSR経営と中期
事業計画の関係を明確にしました。また、コーポレートイメージ

として **スマートケミカルズカンパニー** を
新たに設定しました。環境・安全に配慮したスマートな製品の
開発・企業経営を目指してまいります。

コーポレート・ガバナンス

■コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

日本化薬グループは、社会から信頼される企業であるため
に、株主・投資家の皆さまへのタイムリーかつ公正な情報開
示、チェック機能強化による経営の透明性の確保が重要な課
題であると認識し、自律的なガバナンスを整備しています。

■コーポレート・ガバナンス体制

日本化薬グループは、取締役会の合議制による意思決定
と監査役制度によるコーポレート・ガバナンスが経営機能を
有効に発揮できるシステムであると判断しています。

2005年8月から、事業環境の変化に迅速に対応し、柔軟
な業務執行を行うために「執行役員制度」を導入し、経営の

「意思決定・監督機能」と「業務執行機能」の役割を明確に分
離し、それぞれの機能を強化して適切な意思決定と迅速な
業務執行を行っています。また、経営責任および執行責任の
明確化のため、取締役と執行役員の任期を1年としています。

さらに、2013年6月から社外取締役を導入しました。これ
により、経営の透明性を高めるとともに、コーポレート・ガバ
ナンス体制のさらなる強化を図っています。

当社は監査役会設置会社で、社外監査役3名を含む5名
の体制です。監査役が取締役会等の各種社内重要会議に出
席する他、内部監査部門との情報交換等を通じ、独立した立
場から取締役の職務執行の監視、監督を行っています。

コンプライアンスの浸透と徹底

日本化薬グループは、コンプライ
アンスを企業活動における最優先
課題と位置付け、2011年6月
に「日本化薬グループ行動
憲章・行動基準」を制定しま
した。コンプライアンスを尊
重する企業風土を醸成する
ために、各事業場、グルー
プ会社(国内)に倫理責任者と担
当者を置き、倫理委員会と連携を取り
ながらコンプライアンス推進活動を実践し、着実な運用を
図っています。

コンプライアンスを実践するために、毎年教育研修を行っ
ており、2012年度は新入社員、新任管理職を対象とした研
修も含め、国内事業場40ヵ所で教育研修を行いました。

また、毎年10月を「コンプライアンス推進月間」とし、事業

場単位での教育研修と全従業員対象の「コンプライアンス・
アンケート」を実施しています。2012年度は日本化薬グル
ープ会社の役員・社員3,648名から回答を得ました。アン
ケート結果から順守状況や推進活動に関する課題の抽出を
行い、これをもとに次年度の行動計画を策定し、コンプライ
アンス意識向上のためのPDCAサイクルを回しています。

また、従業員を対象にした「通報・相談窓口」を社内と社
外に設置し、法令や社内規則、行動
基準に反する事象を、未然に
防止、早期に是正すること
に努めています。

